

2016年6月28日

各 位

会 社 名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 穂川 稔
(コード番号 4569 東証第1部)
問い合わせ先 社長室 コポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話 03-3525-4707

子会社における新研究所の建設について

当社の子会社であるキョーリン リメディオ株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：大野田道郎）は、高岡オフィスパーク内に所有する土地（富山県高岡市オフィスパーク11番）に、新たに製剤開発を行う施設を建設し、新研究所として設置することにいたしました。本建物の竣工後、現在稼働中である井波事業所（富山県南砺市）の研究開発機能を新研究所へ移管する予定です。

キョーリン製薬グループは、本年度スタートした新中期経営計画「HOPE100—ステージ2—（2016年度～2019年度）」において、事業戦略の1つとして「特色を活かしたジェネリック（GE）事業の推進」を掲げ、キョーリン リメディオ（株）におけるGE事業の強化等を進めています。

国政として推進される効率的な医療の実現に向け、ジェネリック医薬品の使用は加速化し、今後、市場が成長する一方で、企業間の競争激化が予想されます。このような中、キョーリン リメディオ（株）の事業推進力の強化策として、新たな研究所を建設し、製剤開発力の強化・魅力のある自社開発品目数の増加を図り、持続的な成長を目指します。

新研究所は、固形剤及び液剤の開発研究から治験薬製造までの製剤技術の向上と、複数品目に対応できる施設とし、研究者の動線と交差汚染防止を重視したコンパクトなレイアウトとしております。また、研究設備の充実に加え、研究者間のコミュニケーションの活性化を目的としたスペースを確保するなど、設計に工夫を凝らし、製剤開発の質の向上とスピードアップを図ります。

キョーリン リメディオ（株）は、今後も「高い品質」、「安定した製品供給」、「適切な情報提供」に取り組み、安心してご使用いただけるジェネリック医薬品の提供に邁進いたします。

なお、本件における2017年3月期の連結業績予想に与える影響は軽微です。

【新研究所の計画概要】

土地 : 富山県高岡市オフィスパーク11番
建物 : 建築面積1,809㎡、延べ床面積3,510㎡
S造+耐震構造、地上3階建て
着工 : 2016年7月予定
竣工 : 2017年3月予定
運用開始 : 2017年7月予定
建設費用 : 約20億円予定



以 上